



photo exhibition "TOMONI"

2025.2.21(金) - 2.24(月・祝)

場所: すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)

10:00 - 19:30

最終日 2.24 16:00まで

入場無料

申込み不要 当日直接会場へ

問合せ: info@studio-bloomroom.com



写真展 「ともに」

『見た目問題』という問題があります。顔や体にある生まれつきのアザ、事故や病気による傷痕、変形、欠損、麻痺、脱毛など、先天的や後天的な症状をもつ人々が、学校や就職、結婚などで困難を経験する問題のことです。そして、写真の被写体たちも「見た目(外見)」により、さまざまな問題と向き合いながら暮らしています。私たちは、この写真展を開催するにあたり、「見た目問題」を真摯に受け止め、対話を重ね、自分たちなりの伝え方を模索してきました。彼、彼女たちの姿を通し、この問題を「ともに」生きる全ての人と一緒に考えていけたらと思っています。

イベント

2/22(土)

13:00 被写体モデルによるトークイベント

アルビノ、脱毛症、トリーチャーコリンズ症候群のモデルたちが登壇します

15:00 アーティストトークイベント

2/24(月・祝)

13:00 BBC『みんなと違う私たち
Different Like Me』

上映



©Hello Halo

見た目問題に関する知識にふれ、当事者の気持ちを知り、様々な問題に向き合うヒントをもらえるドキュメンタリー

アフタートーク

NPO法人マイフェイス・マイスタイル代表 外川 浩子
ゲスト:東京理科大学教授 西倉 実季さん

NPO法人マイフェイス・マイスタイル(MFMS) HP:mfms.jp

見た目の症状をもつ人たちがぶつかる困難を「見た目問題」と名付け、交流会、講演、イベントなどを通して問題解決をめざす。「人生は、見た目ではなく、人と人のつながりで決まる」と伝え続けている。

studio Bloom Room HP:studio-bloomroom.com

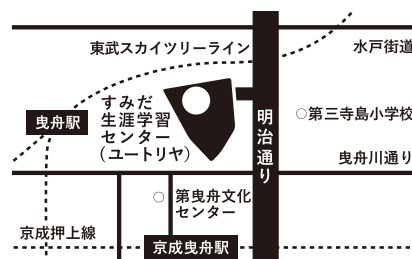
富樫 東正 / フォトグラファー 広告を中心に建物や人物、商品など幅広く撮影。2014年よりMFMSの理事として活動。見た目問題を題材にした写真展『ただ、自分らしく』(2013年)『無自覚なボクが、いま言いたいこと』(2020年)開催。

本田 織恵 / フォトグラファー 広告や雑誌など撮影する一方で、個展やグループ展などでも作品を発表している。以前よりMFMSの写真展などをサポートし、2019年より撮影に参加する。

西倉 実季

東京理科大学教授。専門は社会学、ジェンダー研究。病気やケガで外見に特徴を持つ人たちの社会的困難に関するインタビュー調査をしつつ、近年は雇用場面でのルッキズムについて研究している。著書に、『顔にあざのある女性たち「問題経験の語り」の社会学』(生活書院、2009年)、など多数。

企画・協力: Kiho Park Masayuki Togawa



すみだ生涯学習センター(ユートリヤ)



墨田区東向島2-38-7

助成: すみだ文化芸術活動助成 後援: 墨田区 公益財団法人東京都人権啓発センター